

# 天王様の節分祭

毎月一回土曜日の午前10時〜12時まで第三瑞光小学校で三年生から六年生までの男女35名位にビーチボールバレーを教えています。今月は三日が開催日でしたので終了後に節分の豆まきの話をしましたが、節分のことはいくく知りませんでしたが、でも、天王様で豆まきが行われることは知って

いて全員が参加すると張り切っていました。毎年参加してはいますが、今年も境内にあふれんばかりの人ばかりでした。

私が中学生のころ、南千住三丁目の八百屋の息子さんと大関までのぼりつめた「三根山関」が豆まき

## ☆六郎が語る 南千住一口話 第68回

に来た時のにぎわいの情景が思い出されて嬉しくなりました。子供も大人も「年男を含めて」350余名が3時から3分ごとに4回豆まきを行われ、菓子やおモチヤ等がいり豆と一緒にまかれて、それはそれはワイワイガヤガヤと元気一杯にぎやかで楽しそうでした。

戦前の南千住では出入り口に邪気をはらう為「柀」「葉」にトゲがあつて痛い枝に焼いた鰯の頭を刺したもの

を飾り夜になるとその家の主人が升に煎った豆を入れ窓を開け「鬼は外、福は内」と声を掛けながら家中に撒いている様子が家々から聞こえて来たものです。その後は自分の年の数だけ豆を食べ、チョット晴の料理を食べ家族で遊んで一夜を過ごしました。一家団らんが出来る楽しい行事でしたが、今はどこの家もやってないようです。大昔は宮中のおおみそかの行事であつたものが江戸時代に庶民の行事として一般に定着して来たと言われています。

昔は災害や疫病は悪魔とされてその「厄」「災」をもたらすのが「鬼」と考えられていました。鬼は全ての災の象徴とされ何かにつけていじめられているのです。豆は「魔」(マ)を滅(メ)するとかまめになる「まじめに精進して」不幸をとり払うとのいいつたえがあります。



天王様の豆まきには鬼は登場しません。陰陽道の占いの世界では悪魔が出入するのは北東の方角といわれ、徳川家康は江戸城を築城するにあたり北東の方角の上野に寛永寺を厄除けの祈願のために建立したそうです。

仙成こと杉山六郎



今年の冬は本当におかしいですね。2月だというのにコートを着ていると汗ばんできたり、地下鉄で冷房を入れたり、スギ花粉が出てきたり：でも暖冬のおかげでどうやら今年

は東京には雪が降らないようですね。子供はがっかりかもしれないですが大人には良かったかも？なんせ雪に不慣れな東京ですから交通マヒや転んで骨折、捻挫なんて事にはなりません

のですね。その代わり花粉が早々登場ですね。花粉対策ハーブも好評販売中です。毎年色々な花粉対策グッズが出てきますが、私が最近見たなかで驚いたのはあの王子ネピアがネット限定で販売している『ネピア超鼻セレブ』です。1箱1500円1箱

150組450枚入りなので、1枚10円。3枚重ねで鼻を何回かんでも赤くなくらいにくいとの事。そして私が使ってみたと思うのはなんとヴァーベナの香りがついていてというのも。アロマオイルはとて高価

(5ml 31500円)でハーブだとベルベーナ(クマツヅラ)になります。ものは試しに買ってみようとかアクセスしたら2個セット3000円。3000セット売り出したそうです。残念！

が、もう追加生産待ちでした。残念ながら、多くの部分を手作業なので大量には作れないそうです。ますます興味を惹かれます。気になる方はネピアのHPにアクセスするとみられます。

★ヴァーベナ(エッセンシャルオイル) クマツヅラ科 使用部 葉

中世の魔術師たちが使う媚薬には全てに使われていたといわれています。その他に自律神経、うつ、更年期などによく、鼻詰まりにもよいです。肌には皮膚を柔軟にしてキメを整えてくれます。肌につける時はベア

スオイルに混ぜてください。光毒性(シミなどが出来易くなる)があるので顔などに使用する時は日中は避け

てください。

◇3月17日(土曜) 19日(月曜) 午後1〜2時ハーブ教室開催します 会費千五百円要予約。 ラボンスオカモト店内にて。

TEL (3801) 4725